



福岡市育成会だより

第153号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ4階

TEL.092-713-1480

この会報は、
共同募金の配分を
受けて作成した
ものです。



ありがとうございました

（家族の支援について）

理事長 向井公太

障がい者に関する課題を考えると、障がい者を囲む家族に発生する課題はまさに障がい者問題の特徴を顕著に表したものです。ある特定の人に関する課題が周囲の人にきわめて大きな影響を及ぼすという点において。しかも、その影響が一時的に現れるのではなく、いわゆるライフサイクル上の多くの時間に影響が現れます。特に現在の我が国においては。

なぜ、現在の我が国においてそのような状況が起こっているのかと考えると、背景には我が国特有の社会的条件があるものと思えます。

わたくしが属している福岡市手をつなぐ育成会をはじめ多くの手をつなぐ育成会の基本理念あるいはその存立するベースとなる考え方の中には必ず「家族」という言葉が入っています。また、今回、関わらせていただいた「福岡市に障がい者差別禁止条例をつくる会」に寄せられた1,000件を超える差別あるいは差別に近いと思われる事例を見た時、実はこの事例は障がい者本人が抱える課題であると同時に本人を含む家族の大きな課題であることに気づかされま

す。このことは、障がい者を含む家族の支援（家族に対する支援）と表裏一体のものであることを伝えていきます。現代の福祉の根本的な考え方であり、同じ時間帯の中で生きている障がい者個人のありかたを問うあるいは規定するノーマライゼーションが障がい者にとっての大きな課題であると同時に、障がい者が属する家族にとつてのノーマライゼーションが

同時に重要な課題であります。家族のノーマライゼーションが必要であるという視点は基本的でかつ誤りのない必要な視点であると思えます。

このことをわが国（国や国民を含めて）は長く気づきませんでした。言ってみれば、私たちの障がいに対する見方そして、それを包み込んでしまわなければならなかった家族観はこのようなものであったということであるというのだと思います。私自身において考えた場合も、常に障がいのあるわが子のことが私自身の人生の多くの場面における対処を考える場合のベースにあるあるいはあったと改めて気づかされます。これまでの我が国の社会はそのように考えな

れば生きてこれなかった社会（少なくとも思考の中で）であり、その意味で家族のノーマライゼーションは考えてこられてなかった、家族は意識的に考えてこなかったのではないのでしょうか。ひよつとして、そのことに気付いた親も自分の心の中で納めてきてしまったのではないのでしょうか。そうしなければ、今までの我が国では周囲の人とお付き合いし生きてこれなかったかもしれせん。

障がいのあるわが子が生まれて、就学して、成人期を迎えてもなおわが子の生き方に深くかかわらざるを得ない家族に対する支援の状況はその家族が生きている社会の障がいや障がい者に対する状況の反映そのものであると思えます。

ここまで考えてきて、与えられた空間が尽きてしまいました。現代において家族の支援には具体的に何か必要か、今後どうあるべきなのか、社会の中で家族に対する支援をどう位置付けるべきかなどについては自身今一度整理してみたいと思います。

区障がい者基幹相談支援センター



区障がい者基幹相談支援センターでは障がいのある方が
住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるように、
さまざまなご相談をお受けいたします。

区障がい者基幹相談支援センターの役割

- 区障がい者基幹相談支援センターは障がいのある方やそのご家族のための地域に密着した相談窓口です。
- 障がいのある方やそのご家族の日常生活のさまざまなご相談をお受けします。
- 地域の方や福祉サービス事業所などの関係機関からも支援が必要な障がいのある方のご相談にも応じます。



対象者

- 市内在住の障がい(疾病)のある方やそのご家族
※障がい種別、障がいの診断の有無は問わずご利用いただけます。
- 地域の方
- 障がい福祉サービス事業所や相談支援事業所などの関係機関

相談方法

- 電話、FAX、来所、訪問などご希望にあわせ、ご相談に対応しています。
- ※まずはお住まいの地域を担当する区障がい者基幹相談支援センターへご連絡ください。
- ※状況に応じて専門的な相談機関の紹介なども行います。
- ※開設時間/月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
(祝日と年末年始(12/29~1/3まで)を除く)
緊急時には、上記時間外でも対応いたします。

区障がい者基幹相談支援センターに 相談してください！

暮らしに関する相談

- ◆お金の管理に関すること
- ◆交通機関などの移動手段の利用に関すること
- ◆趣味や余暇活動に関すること

障がい福祉サービスの 利用に関する相談

- ◆障がい福祉サービスの内容や事業所に関する情報の提供
- ◆サービス利用の助言や利用申請の援助
- ◆サービスを利用するための関係機関との調整

専門機関の紹介

- ◆相談者の状況に応じて、就労の支援を行う機関や医療機関などの専門機関を紹介

権利擁護の相談

- ◆成年後見制度の内容や利用に関すること
- ◆障がい者虐待防止センターと連携した支援

地域で困っている 障がいのある方の支援

- ◆生活面で困っている障がい者がいた場合に、家庭訪問などで相談対応
- ◆必要に応じてサービスの利用などを調整

緊急時の支援

- ◆緊急時は24時間相談に対応
- ◆緊急に支援が必要な場合は、緊急一時預かりなどを関係機関と調整

その他、さまざまな困りごとの相談に応じます。



- ・障がいのある子の将来の生活が心配
- ・介護で疲れているから休める時間がほしい
- ・子どもが長年引きこもっていて行き場がない など



区障がい者基幹相談支援センターは、障がいのある方の主体的な地域生活を支援するため地域の方やサービス提供事業所などの連携体制づくりにも取り組みます。

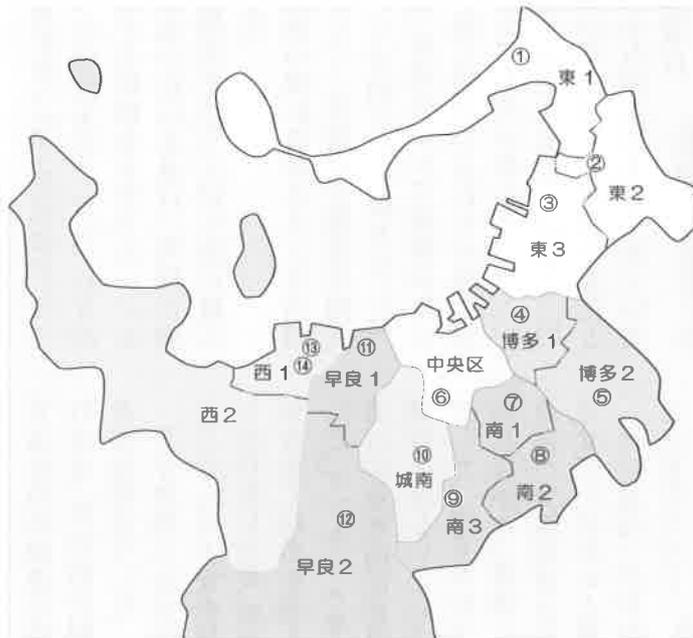
「一緒に悩みを解決しましょう！
まずはお気軽にご相談ください」

どなたでも、
身近な地域で、
どんなことでも。



くしょう しやきかんそうだんしえん と あ さき
区障がい者基幹相談支援センターのお問い合わせ先

- 13 西区第1障がい者基幹相談支援センター
14 西区第2障がい者基幹相談支援センター
10 城南区障がい者基幹相談支援センター
7 南区第1障がい者基幹相談支援センター
8 南区第2障がい者基幹相談支援センター
9 南区第3障がい者基幹相談支援センター
6 中央区障がい者基幹相談支援センター



- 1 東区第1障がい者基幹相談支援センター
2 東区第2障がい者基幹相談支援センター
3 東区第3障がい者基幹相談支援センター
4 博多区第1障がい者基幹相談支援センター
5 博多区第2障がい者基幹相談支援センター
11 早良区第1障がい者基幹相談支援センター
12 早良区第2障がい者基幹相談支援センター

平成29年4月1日現在

Table with 5 columns: 名称 (Name), 住所 (Address), 上記地図番号 (Map No.), 電話番号/FAX番号 (Phone/Fax No.), 担当小学校区 (Responsible School District). It lists 14 support centers with their respective contact info and districts.

※開設時間 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで(祝日と年末年始(12/29~1/3まで)を除く)
緊急時には、上記時間外でも対応いたします(上記時間外は、専用の電話番号をご案内します。)

**第1回 社会福祉法人
福岡市手をつなぐ育成会
実践発表会の
実施について**

ひまわりパーク上牟田 施設長

日隈 富貴雄

「福岡市手をつなぐ育成会として、自分たちの実践を出し合い、日々の実践に繋がる研修会を作りたい。」という理事長の思いを受け、実施に向け実行委員会を立ち上げて取り組んできました。

実践発表の流れを作ることを当初の目的として、各施設の報告を順次回していく方向で取り組みました。今年度は、育成会として開所が早いひまわり園と福岡ひまわりの里に実践を報告してもらいました。

ひまわり園の竹内蔵主任からは、「待つ」という支援を利用者の変化と重ね合わせながら発表してもらいました。利用者目線の支援を考える時、大きな視点となる「待つ」という取り組みの大切さを改めて考えさせられました。



福岡ひまわりの里の阿部主任からは、「機能回復訓練」についての実践報告をしてもらいました。育成会全体を考えても、利用者の高齢化による様々な課題が見えてきています。これからの豊かな生活を支援するためにも、残された機能を十分に活用

するための地道な取り組みが求められます。目の前の利用者の姿と重なる実践報告でした。

今年度第1回目の取り組みとして、たくさんの不安を抱えながらの船出となりましたが、参加者は来賓の方々も含めて90名を超えるものとなりました。アンケートを見たなら、実践発表会への意欲的な意見が多く、今後も続けてほしいという意見がほとんどでした。皆さんから頂いた意見を活かしながら、着実に船を進めていけるよう実践発表会をさらに充実発展させていきたいと思えます。

次年度は、ひまわりパーク六本松とひまわりパークつぼみからの実践発表を予定しています。より良い実践発表会になりますよう、皆様方の協力をよろしくお願ひします。



今号は「事業所と家族の関わり」をテーマに、各施設の取り組み等について述べてもらいます。



福岡ひまわりの里

副主任 阿部 ちひろ

福岡ひまわりの里では、隔月の保護者会、帰省時、行事への参加が利用者のご家族と関わる機会となっております。また今年度は、多くに利用者が計画相談のため特定相談事業所との担当者会議を通じて多くの保護者や後見人の皆様と面談する機会がありました。その中で特に変化を感じたことは、利用者の保護者として関わるご家族が親からきょうだい、おじやおばにバトンタッチしていることです。特に施設生活が長い利用者は、入所前になどのご家族との関わりがあったのか見えにくい部分もありました。しかし、面談等できょうだいや親戚とのきょうだいなものがあり、施設での支援につながる例もありました。本人と家族のつながりは施設での支援につながる例もありました。本人と家族のつながりは施設での支援の重要な手がかりになります。これからも、利用者本人とご家族との関わりや思いを大事にしたい

と思えます。



ひまわり園

野村 洋介

このテーマを頂いて、今どのような家族と関わりを持っていくかを考えました。

そこで、ご家族の方々と法人内で直接関わる機会が多いと思うのが「特定相談支援事業所」ではないかと考えました。

なぜなら、支援計画作成の為にアセスメントを行ったり、ご自宅に行きモニタリングを行う事で機会が多いと思うからです。また、ご家族の方が成年後見制度や介護保険について知りたい、または利用したい場合、ご家族の方が短期入所を使用したいがどうしたら良いかなどの問い合わせがあれば、相談支援事業所に繋いで対応をしているからです。

しかし、緊急の場合などに迅速に対応する必要がある時には相談支援事業所だけでなく利用者の方がサービスを利用している事業所が様々な事例に対応できるようにする必要があります。

その為には制度や手続きの事、地域で使える社会資源を知る等、事業所の職員として自己研鑽を行う必要があると思えます。そうすることで

事業所がご家族の方々と関わりを持つ機会も増ると共に、職員の支援にも幅が出てくるのではないかと考えます。



ひまわりパーク六本松

施設長 今林 映一

当事業所に異動し一年になるこの時期に寄稿する機会いただき感謝申し上げます。このテーマは事業所にとつて重要な課題でもありません。

平成24年4月開所当初から利用者さんのご家族、保護者の皆さんから作業提供やアート活動等へのご理解や大きなご支援をいただきながら、元気で個性的な現在のひまわりパーク六本松に育ってきたと思います。

本年2月には家族の皆さんから利用者さんの家庭での様子や事業所への要望などを伺いました。利用者が元気に事業所に通えるように家庭では健康管理などを工夫されており、事業所では活動が充実することを期待されていることに改めて事業所としての責任の大きさを感じます。

今後、事業所としては工賃向上などの課題はありますが、利用者が充実した活動を行い、また保護者の皆さんが相談しやすい事業所を目指して取り組んでまいりますので今後ともご支援をお願い申し上げます。



ひまわりパークつばみ

久間 真由子

福祉の仕事に携わるようになり約18年になります。仕事を通して、利用者さんと関わる中で、その家族とも向き合い関わっていくことも大切なことだと言うことを痛感させられることが沢山ありました。利用者さんが一人ひとり違うように、利用者さんの家族もそれぞれいろんな思いや考えがあり、その奥には、いろいろな事情などの背景があります。私たち職員は、そんな利用者さんや家族を含めて支援していくことが大切だと思います。そのためには、家族とも真剣に向き合っていくことが大切になります。一番は、安心感や信頼関係を築くことが大切になります。急に「担当になりました」と、言われても大切なことを話すことは出来ません。

時間をかけ、直接顔を見て話を聞くことで、お互いの事を安心して話せるようになっていくことがほとんどでした。それが、難しいときには、先輩の職員に頼りながら、連絡帳など紙でのやり取りだけでなく、電話をして話をするなど、出来るだけこちらの雰囲気を含め話をしていきます。小さな力かもしれませんが、少しで

も役に立てるよう心掛けて、支援をしていきたいと思います。



ひまわりパーク上牟田

豊野 輝

育成会に採用されて半年が過ぎました。利用者との日々の関わりの中で、家族との連携の大切さを強く感じています。

私が担当している利用者は、高齢化も重なり様々な変化が見られます。高齢者の施設での勤務経験を活かしながら丁寧に対応していますが、家庭生活が見えないもどかしさも感じています。

利用者の自宅での顔と事業所での顔は違います。利用者の自宅での様子を確認しながら支援をしていかなければ、本当の支援にはならないと思います。家族から聞いた情報はとても貴重です。特に健康面では細かな情報が必要です。利用者の今後の豊かな生活を支援するため、保護者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思えます。

上牟田での利用者の頑張っている姿を保護者に伝えながら、信頼関係をさらに築いていきたいと思えます。常に利用者を中心に、施設と家族が支えながら支援できるように、中身

のある連携を自分の大きな課題として実践を重ねていきたいと感じています。



ライフサポート てをつなぐ

川邊 大介

福祉サービスを実施するに当たって、ご本人はもちろん、ご家族の方との関係は非常に重要なものとなってきます。ご本人の成育歴やご家庭の様子、その日の体調など、支援を実施する際に必要な情報はご家族から得られることがとても多いです。

ライフサポートをつなぐでは、ご自宅での支援が主になりますのでご家族との接点は多くなります。そのため、支援終了後などにご家族の方とお話等をさせていただく機会も多く、ご本人の普段の様子や過去の様子など、色々なお話を聞かせていただいています。その中には「次の外出時にはそこに行ってみよう」「次の訪問時にはあれをしてみよう」など、次の支援に繋がることもあります。

私は話下手ですが、ご家族の方から色々話をしてくださるのでとても嬉しく思っております。そのようなご家族との関わりの時間を大切にしながら、今後もご本人、ご家族と関わっていかれたらと思います。



早良ひまわりハウス開設準備室

グループホーム早良ひまわりハウスの経過をご報告いたします。



早良ひまわりハウス準備室

室長 荒井 晃紀

生活が始まります。

また、現在建築中の早良ひまわりハウス2ですが、5月下旬には完成、6月1日より開所を予定しています。

今回の早良ひまわりハウス開所にあたり、多数の育成会会員の皆様から、電化製品、家具類、食器類などご寄付及び寄贈していただき誠にありがとうございました。いただいた品物につきましては、大切に使用させていただきます。

いよいよ、4月1日より事業所を開設いたしますが、早良ひまわりハウスの様子については、次回以降の育成会だよりでご報告させていただきます。

今後とも、早良ひまわりハウスにつきましては、引き続きご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

日増しに春めいてきましたが、早良ひまわりハウスにつきましては、ハウス1に関しましては、ほぼ完成し4月1日の開所を待つばかりとなりました。完成したハウス1は、外観は洋風な佇まいになっています。また内装については、全体的に木目を基調としたものになっており、今回のグループホームのコンセプトである家庭的な雰囲気になった仕上がりになっています。今後は、4月1日より随時、ご利用者様が入居され新

福岡市の区基幹支援相談センターについて

平成29年4月より、福岡市の相談支援の体制が大きく変わります。

①知的障がい(発達障がい)・精神障がい・身体障がいの相談窓口の一本化。

②地域の相談支援業務の強化を図る目的で福岡市内を14区に分け「区障がい者基幹相談支援センター(以下、区基幹センター)」の設立(2p〜3p参照)。

福岡市手をつなぐ育成会は、区基幹センターの1カ所を受託し、早良ひまわりハウス1内に「早良区第2障がい者基幹相談支援センター」の運営準備を進めているところです。

具体的には3pをご覧ください。小学校区(有住、原西、有田、賀茂、入部、四箇田、内野、早良、脇山、曲淵、田隈、田村、野芥)が担当区域となります。

主な業務内容としては、①福祉サービスの利用援助、②社会資源を活用するための支援、③社会生活力を高めるための支援、④権利擁護のために必要な援助、⑤専門機関の紹介、⑥福岡市障がい者等

地域生活支援協議会の区部会の運営及び区ごとのネットワークの構築、⑦区内の相談支援事業所のネットワークの構築、⑧区内の相談支援事業所に対する専門的な指導・助言・人材育成、⑨地域福祉の基盤づくり、⑩緊急対応、⑪区基幹センターの人材育成、⑫市基幹センターとの連携及び主任コーディネーター会議、⑬その他、障がい者等の自立に関することになります。その他、潜在的な利用希望者に手を差し伸べ、利用を実現させるような取り組み(アウトリーチ)など、緊急時では24時間の相談支援体制で皆様をサポートして参ります。



本人部会準備会議報告



本人活動(本人部会)とは、知的障がいのある人たち(以下「本人」と呼びます)の、本人のためのグループ活動です。グループ活動をとおして自分に自信を持つ、本人一人ひとりが仲間たちを理解し支え合う、自分たちと社会との関係を見つめ話し合う、自分たちの権利や自立のために社会に働きかけること等を目的としています。

現在、本人部会準備会議のメンバーは、本人部会でどのような活動を行うか話し合ってい

ます。これまで、メンバーからは「将来のためのグループホーム見学会」「インターネットの使い方、安全な情報と危険な情報の見分け方」「契約について」といった勉強会や、忘年会や交流会といったお互いの親睦を深める取り組み、また育成会九州大会に参加し九州各県の本人部会と交流を深めたいとの意見が出ました。このような、自分たちの意見を年間計画や会則に盛り込んでいます。

現在、本人部会準備会のメンバーを大募集しています。「本人部会は難しいことを話しているのでは…」とあってある方もいらっしゃるようですが、いつも楽しくにぎやかに話し合いをしていますので、ご心配はいりません。参加をご希望の方は育成会事務局(713-1480)までご連絡ください。毎月会員の皆さまにご案内(ピンク色のチラシ)を送付していますので、そちらもご覧ください。

最後にお知らせですが、全国手をつなぐ育成会連合会から発行される情報誌「手をつなぐ」の4月号に本人部会準備会議メンバーである三原さん、三野さんの記事が掲載されますので、ぜひご覧ください。

知的障がい、発達障がいのある方を、充実した保障でお守りします！



入院保障 1泊2日からの 手厚い入院保障。	個人賠償責任補償 原則として支払い 回数に制限なし。	権利擁護費用補償 被害事故を 解決までサポート。	死亡保障 万一のときの 死亡保障。
------------------------------------	---	---------------------------------------	--------------------------------

ぜんちのあんしん保険 保障内容(A-1プランの場合)

年間保険料17,000円でこの充実した保障をお届けいたします。

病気・ケガ	死亡保険金	10万円	被害事故	法律相談費用	5万円 <small>までの実費</small>
ケガ	特定重度障害保険金	10万円	被害事故	弁護士委任費用	100万円 <small>までの実費</small>
病気・ケガ	入院保険金	1日につき 8,000円 <small>※1</small>	被害事故	接見費用	1万円
病気・ケガ	入院一時金	10,000円	個人賠償	個人賠償責任保険金	1,000万円 <small>ご任意で</small>
ケガ	傷害通院保険金	1日につき 1,000円 <small>※1</small>			

*この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

※1:一回の入院または一回の通院につき、30日限度。
※2:てんかんによる入院の場合は一日につき4,000円となります。

詳しい資料のご請求、商品のお問い合わせは下記代理店へお気軽にどうぞ。

○取扱代理店

株式会社 グッド・サポート

TEL 092-263-6771 FAX 092-263-6772

〒812-0037 福岡県福岡市博多区御供所町2-63 博多パルビル3F

○引受保険会社

ともに助け、ともに生きる

ぜんち共済株式会社

国家財産局長(少額短期保険)第14号

〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号
岩本町シティプラザビル5階

保護者会だより

福岡市手をつなぐ育成会保護者会

ひとりで悩まないで。仲間がいますよ

会長 下山 いわ子

当会では、平成20年、福岡市西区で起きた、母親が障がいのある子どもを殺めた事件をきっかけに、意識して強く「ひとりで悩まないで。仲間がいますよ。」と発信し続けています。

身近に起きた悲しい事件でした。「何かできなかつたのか」と悔やまれ、苦しい気持ちで沸きあがり、まず、「会から手が届く人は限りがあるので、ひとりが身近な人と声をかけあおう」と呼びかけました。

幼児・学齢部会の催し物案内には、必ず、「ひとりで悩まないでマーク」を載せ、障がい児通所施設保護者会でも伝え続けています。しかしながら、平成25年に福岡市で、そして、今年つい最近3月には北九州市で悲しい事件が起きています。

それぞれの家庭、学校、地域等の環境の背景や、至るまでの経緯には複雑な要因が絡み合っ

おり、知りうる事情も限られるので、何が原因で、どうすれば良いかを示すことは難しいです。でも、こんなことは、起きないようにしなくてはなりません。

① 私たち当事者も何人も平等な存在であること、権利擁護の意識を高めること。

↓障がいがあることで優遇されたり、称賛されたいのではなく、障がいがあることで不利益を被ることに遠慮せずに相談する。

保護者も本人も学ぶことが必要です。研修会に参加しませんか。

② 社会が、正しい人権意識をもつこと。
↓啓発活動を地道に進めます。

③ 障がいのある本人が、適切で切れ目のない支援を受けられること。
↓今、研究会を立ち上げて、有識者、事業所関係者、保護者で検討しています。

福岡市手をつなぐ
育成会保護者会
TEL 713-1480
FAX 715-3561
e-mail
hogsha2@fiku.jp

④ 家族や関係者が孤立しないこと
↓「顔の見える関係をつくる場」を提供しています。

次ページで紹介していますので、どうぞ、ご参加ください！
そして、多くの方に発信できるホームページを充実しなくては、思っています。



できる限り、「顔の見える関係」を大切にして、仲間作りを広げます。
うれしいこと、悩んでいること、なんでも、いつでも、話を聴くよ！力になるよ！という仲間がいます。
ひとりで悩む時があれば、育成会保護者会を思い出してください。
一緒に考えていきましょう。

ライフストーリーを 作りませんか

ライフストーリーとは？

1年に1枚、思い出のつまったアルバムを作ることです！(´▽`)

作る目的は？

本人が、家族や友だち、恩師等、関わってきた人たちとの絆や楽しい思い出を振り返ることが出来ます。

本人が年を重ねることで豊かになっていくことや失ってきたことを、保護者でない人たちに伝えることができます。

ある支援者が「歳をとると、がんこさが強くなって、支援が大変」という話をしていました。

このような時に、若い頃の笑顔いっぱい活動している姿をみてもらい、「こんな笑顔で、こんなに楽しく生活していたんだ」と感じてもらい、今の本人を受け止めてもらえたらと思います。

作るポイントは？

1年に1枚がミソ。枚数が多くなると見るのが大変。

いつまでも、愛されていることを感じてほしい、という気持ちをこめて作りませんか？

**気兼ねなく何でも話せる こじんまりした
どの集まりも、どなたでも参加できる、居場所です~♥
聞くだけの参加も、会員外の方の参加も OK (^) /**

かふえ♥お茶しながら~

幼児・学齢期の子どもをもつ保護者の集まり

場所：ふくふくプラザ4階 応接室3

時間：10:30~12:30

日程：基本 毎月第3水曜日

4/19 5/17 6/21
7/12 8月休会 9/13
10/18 11/22 12/13
30年1/17 2/21 3/14

年齢層も、障がい児通所施設から、高等部まで、
成人期の保護者も参加することもあります。
聞きたい年代・地域の情報が飛び交っています。
あんなこと知りたい、こんなことできたら、
と、お茶しながら、わいわい楽しく
過ごしていますよ~

成人向け定例会

本人が成人期の家族の集まり

場所：ふくふくプラザ4階 応接室3

時間：10:30~12:00

日程：基本 毎月第1水曜日

4/5 5/10 6月休会
7/5 8月休会 9/6
10/4 11/1 12/6
30年1/10 2/7 3/7

最近、お父さんの参加もあり、細かく
わからないことや心配な事を相談したり、
アドバイスを受けたりしています。

「研修会だと人前で聞けないことも、ここでは、
気軽に話せるから」と毎回参加される方も。
「こじんまりが、いいんです」って (^-)☆

個人会員の集い

個人会員の集まり

(個人会員に限らず、どなたでも OK!)

場所：ふくふくプラザ4階 応接室3

時間：10:30~12:00

日程：基本 毎月第3月曜日

4/17 5/15 6月休会
7/10 8月休会 9/11
10/16 11/20 12/18
30年1/15 2/19 3/19

生活に役立つ制度の最新情報や、福祉サービスで
実際に使っている方の具体的な話が満載です。
若い保護者の方は、先輩に、気軽に
あれやこれや聞いています。

話がはずんで残って話される方も(^)v

本人が参加する活動

本人：障がいのある人
参加申し込みが必要です。(育成会保護者会あて)

☆オープンスペース：自由に過ごします。
大学生ボランティアの人たちと話したり、

ゲームを楽しむ。
昼食を作って、食べる。

日程：6/4 9/9 11/25

場所：ふくふくプラザ5階 調理実習室

時間：11時~午後3時

参加費：会員 500円 会員外 800円
持ってくるもの：エプロン、三角巾、参加費

☆ボウリング会：10/29 参加費あり

☆ダンスパーティ：30年1/21 参加費

まずは、参加してみてください~い!

★詳細は、育成会保護者会までお問合せ下さい (*^-*)

保護者・職員 リレートーク

育成会会員(保護者)、事業所職員によるリレートークは、テーマはフリーでそれぞれの立場での思いや考え方などあらゆる視点から法人に対する熱い思いを述べてもらいます。第9回目の保護者は伊良皆千鶴さん、職員はひまわりパーク六本松の新道菜津実さんです。

伊良皆 千鶴

息子も今度高等部3年生。その姉も大学4年なので、2人とも後1年で社会に出ます。どちらにも、やりがいのある仕事に出会ってほしい。でもそれ以上に、この子達が、それぞれ新しい家族に出会い、温かい家庭に囲まれて次の時代を生きていくことを夢見ています。姉はその部分、自分で何とかしてくれるだろうと高をくくっています。でも、息子の場合、不安です。とりあえず、今、何をすればいいのかと藻掻いています。

私以外の人との生活に慣れて欲しくて、ライフサポートをつなぐに入浴介助をお願いしました。最初の頃は、家が散らかっているのを気にして掃除していましたが、この頃は、

慣れっこになって、汚い部屋のままお迎えしています。ごめんなさい。息子も、すっかり慣れて、言葉はしゃべれなくても、家族以外の人と生活できている姿が見られて、安心していきます。今後、食事などいろんな生活の場面にまで、広がっていったら良いなと思っています。

ひまわりパーク六本松

新道 菜津美

ひまわりパーク六本松では主に事業所内でのアート活動や簡易作業に取り組んできましたが、今年度からは公民館清掃や販売などの事業所外での活動に利用者の方が参加される機会も増えてきました。

販売先では、自分たちが描いた絵の商品が実際に売れているのを見ることで自信や意欲の向上につながっていると感じています。また、販売に行かれた利用者の方が生き生きとしている様子を見て「自分も販売に行ってみたい」と言われる利用者の方も多く、事業所外での活動がいい刺激になっているのではないかと感じました。

社会人になって二年が経ち至らない点も多くあると思いますが、今後も利用者の方の活動の幅が広がり、より充実した生活を送っていただけよう努力していきたいと思えます。

職員人事

●退職者

ひまわり園

岩永 恭子

ひまわりパーク六本松

呑田 美香

ひまわりパークつぼみ

施設長 広渡 智恵子

平田 亜美

藤原 恵美

ひまわりパーク上牟田

原田 健作

ライフサポートをつなぐ

施設長 伊達 美奈子

清掃事業部

片山 知忠

●採用者

福岡ひまわりの里

吉田 靖章



寄付のお礼

(平成29年1月～平成29年3月)

◎ひまわりパーク六本松

木村 就子 様

◎ひまわりパークつぼみ

中村 アツ子 様

◎ひまわりパーク上牟田

博多マルイ 様

◎ライフサポートをつなぐ

日本キリスト教団 福岡中部教会婦人会 様

◎早良ひまわりハウス

近藤 宣夫 様

ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

お知らせ

■平成29年度

福岡市手をつなぐ育成会総会

期日 平成29年6月29日(木)

会場 福岡市市民福祉プラザ
1階ホール

■第57回九州地区

手をつなぐ育成会 佐賀県大会

併催 九州地区事業所協議会九州大会

第59回知的障がい児(者)の教育・

福祉・就労研修佐賀県大会

期日 平成29年8月26日(土)～27日(日)

会場 佐賀市文化会館 (佐賀市)

■第4回全国手をつなぐ育成会

連合会全国大会 札幌大会

併催 第62回北海道手をつなぐ育成会

全道大会

期日 平成29年9月23日(土)～24日(日)

会場 ロイトン札幌(札幌市)

■第37回手をつなぐ育成会福岡県大会

期日 平成29年10月14日(土)

会場 福岡市市民福祉プラザ

1階ホール